

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム笑顔の泉

目標達成計画

作成日：令和元年 11 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間	
1	12 13	問題点、課題に対し両項目共に重要と感じたため2項目としました。 管理者自身も職員もなかなか時間が取れず、研修に行ける機会が少ない。また職員の具体的なニーズが把握しきれていない。	・社内外の研修に行ける頻度を増やす ・職員の量と質を両立させより良い介護を目指す ・上記の達成によるご家族、利用者、職員の満足度の向上を図る	職員のニーズの聞き取り、会社に何を求めているか、どう学びたいかどこにやりがいを感じるかなどを聞き取る。 ニーズに応え、会社に来ることを行う。また、個人に合わせた研修を斡旋する。	6ヶ月
2	7	未だ高齢者虐待について理解しきれていない職員もあり、尊厳についても同様なかなか理解が定着しない。	・職員全員が高齢者虐待や尊厳の保持について理解する	現在行っている身体拘束適正化委員会に於いて更に深く掘り下げ、ビデオ研修やロールプレイを行う。	6ヶ月
3	2	関わる機会を持つ努力はしているが密接な関係とは言えず、まだできることがあると感じる。	・子供たちや地域住民と触れ合う機会を持つことで利用者自身の人生経験や地域の歴史を伝える ・上記を通じて地域への貢献を図る	地域のおまつりや認知症カフェへの参加。地域の小学校や保育園から子供たちに来てもらう、または訪問させてもらって利用者子供たちとの交流会を開催する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。